

< あなたの治療について >

婦人科-Pembro/BV-子宮頸-q3w

今回の治療は、Pembro/BV 療法という治療法で、キイトルーダ（KEY）アバスチン（BV）という2種類の注射薬で治療を行います。キイトルーダ、アバスチンは共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を3週間（21日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~21日目
①	キイトルーダ (抗がん剤) 200mg/body	点滴 約30分		お休み
②	アバスチン (抗がん剤) 15mg/kg	点滴 初回 90分 2回目 60分 3回目以降 30分		

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎特徴的な副作用について

キイトルーダにおける

*免疫チェックポイント阻害剤における副作用は、別添の資料を参照して下さい。

アバスチンにおける

●創傷治癒遅延

「傷が治りにくい」などの症状

●高血圧

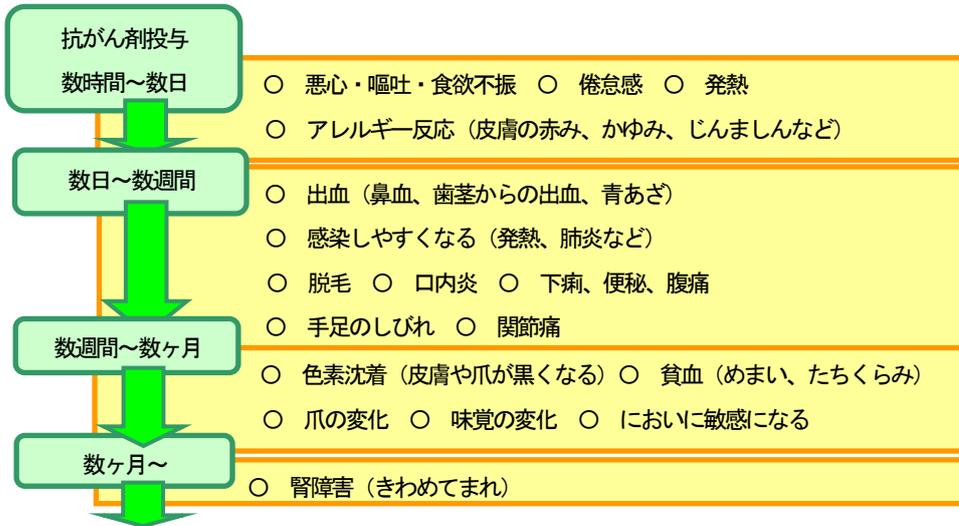
●血栓性微小血管症

「血が出やすくなる、鼻血、歯茎の出血、あおあざができる、血尿」などの症状

*上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。
これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。
また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【キイトルーダ】

- [間質性肺疾患] 発熱、から咳、息苦しい
- [大腸炎、小腸炎、重度の下痢] 嘔吐（おうと）、腹痛、下痢、泥状の便
- [中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑] まぶたや眼の充血、唇や口内のただれ、発疹、みずぶくれ、発熱
- [類天疱瘡] かゆみの激しい水疱
- [神経障害] 運動のまひ、手足のしびれ、指先のしびれ、歩行困難
- [劇症肝炎、肝不全、肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎] 食欲不振、吐き気、嘔吐、からだがだるい、白目や皮膚が黄色くなる、かゆみ、発熱、右上腹部の痛み
- [甲状腺機能障害] 汗をかきやすい、胸がドキドキする、からだがだるい、寒がりになる
- [下垂体機能障害] からだがだるい、頭がぼーっとしたり意識がなくなったりする、血圧低下
- [副腎機能障害] からだがだるい、意識がうすれる、低血圧
- [1型糖尿病] からだがだるい、のどの渇き、尿の量が増える、意識の低下
- [腎障害] むくみ、頭痛、尿量が減る
- [膵炎] 吐き気、嘔吐、胃・おなかの激しい痛み、背中痛み
- [筋炎、横紋筋融解症] 脱力感、筋肉の痛み、息苦しい、赤褐色尿
- [重症筋無力症] まぶたが重い、上まぶたが下がる、物がけだぶって見える、筋肉の疲労感
- [心筋炎] からだがだるい、発熱、吐き気、息苦しい
- [脳炎、髄膜炎] 発熱、頭痛、意識の低下
- [重篤な血液障害] 貧血症状、発熱、出血傾向

[血球貪食症候群] 発熱、左上腹部の圧迫感や痛み、リンパ節のはれ

[結核] 長引く微熱・咳、からだがだるい、体重減少

[インフュージョン・リアクション] 呼吸困難、意識障害、まぶた・唇・舌のはれ

[ぶどう膜炎] 目のかすみ、視力の低下、蚊が眼の前を飛んでいるように見える、まぶしい、眼の痛み、眼の充血

【アバスチン】

[ショック、アナフィラキシー] 冷や汗が出る、めまい、顔面そう白、手足が冷たくなる、意識の消失、かゆみ、じんましん、ふらつき、動悸、息苦しい

[消化管穿孔、瘻孔（消化管瘻、気管支胸膜瘻、泌尿生殖器瘻、胆管瘻等）] 吐き気、おう吐、息苦しい、咳、寒気、発熱、ふらつき、息切れ、意識の低下、腹痛、お腹の皮膚が赤く腫れて膿や腸液が出てくる、肛門の周辺や皮膚に穴があき腸液や便がもれる、膣から便や尿がもれる、膣から出血する、体がだるい、食欲不振、白目や皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、尿に泡が混じる、尿がにごっている

[創傷治癒遅延] 傷が治りにくい

[消化管出血] 吐き気、おう吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、便に血が混じる、黒い便が出る

[肺出血] 咳と一緒に血が出る

[脳出血] 突然の意識の低下・意識の消失・頭痛・おう吐・めまい、突然片側の手足が動かしにくくなる・しゃべりにくくなる・言葉が出にくくなる

[粘膜出血（鼻出血、歯肉出血、膣出血等）] 血を吐く、鼻・歯ぐき・膣など粘膜からの出血、便に血が混じる

[脳血管発作、一過性脳虚血発作、心筋梗塞、狭心症、脳虚血、脳梗塞等の動脈血栓塞栓症] 突然の意識の低下・意識の消失・頭痛・おう吐・めまい、突然片側の手足が動かしにくくなる・感覚障害がおこる・しゃべりにくくなる・言葉が出にくくなる・ろれつがまわらなくなる・視力障害がおこる・飲み込みにくくなる、しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る、胸を強く押しえつけられた感じ、あご・左腕の痛み

[深部静脈血栓症、肺塞栓症等の静脈血栓塞栓症] 発熱、皮膚・手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる、下肢のむくみ・痛み、胸の痛み、突然の息切れ

[高血圧性脳症、高血圧性クリーゼ] 頭痛、吐き気、早朝のおう吐、一時的な視力障害、目のかすみ、片側のまひ、言葉が出にくい、けいれん、肩こり、めまい、意識の低下、意識の消失、鼻血

[可逆性後白質脳症候群] 頭痛、意識の低下、意識の消失、けいれん、視力障害

[ネフロース症候群] 尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、息苦しい、尿が赤みを帯びる、むくみ、体がだるい、体重の増加

[骨髄抑制（汎血球減少症、好中球減少、白血球減少、貧血、血小板減少）] 発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸、息切れ

[感染症（肺炎、敗血症、壊死性筋膜炎等）] 発熱、咳、痰、息切れ、息苦しい、寒気、脈が速くなる、体がだるい、皮膚が赤～赤紫色にはれる、痛みを伴う水ぶくれができる、進行すると皮膚は黒色になり、皮膚と筋肉がただれたり、くずれたりする

[うつ血性心不全] 息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加

[間質性肺炎] 咳、息切れ、息苦しい、発熱

[血栓性微血管症（血栓性血小板減少性紫斑病、溶血性尿毒症症候群等）] 血が出やすくなる、鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、血尿

[動脈解離] 激しい胸の痛み・腹痛・背中痛み

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。